

- ① 「門真市版授業スタンダード」及び「門真市授業づくりベーシック」の推進
- ② <短期的なPDCAサイクル(月1回)>
校内学力向上組織の運営（担当教員の役割の明確化・会議で話し合う内容の充実等）
- ③ <中期的なPDCAサイクル（学期1回）>
市教育センター作成の学期末ワークや確認プリントの活用（小学校5年・中学校2年対象）
- ④ 自校の強みや弱みなど、ポイントを絞った取組を行う。
- ⑤ <長期的なPDCAサイクル（年1回）>
各校で行っている授業改善・学力向上の取組（①～④）の効果をはかる指標として、各種学力調査において【同一集団前年度比較】【全国平均正答率7割の問題】【全国平均以上及び全国比6割未満の児童生徒の割合】を設定（その他に加えるものに関しては学校ごと任意）し、授業改善の取組につなげる。
- ⑥ AIドリル「キュビナ」の組織的な活用体制の確立
- ⑦ 学力向上に係る加配配置がない学校には、週1回程度、指導主事が学校訪問支援を行う。